



2023年7月13日

各 位

会 社 名 アゼアス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 齊藤文明
(コード番号：3161 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 羽場恒彦
(TEL. 03-3865-1311)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2020年5月から2023年4月までの中期経営計画「Next Stage 実行計画 2020」に続き、2023年5月から2026年4月までを計画期間とする新たな中期経営計画「Next Stage 実行計画 2023」を策定し、スタートいたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景について

新型コロナウイルス感染症は収束に向かいつつありますが、国際紛争の懸念、サプライチェーンの寸断リスク、水害、大地震、火山噴火など大規模災害発生に対する不安、新型感染症の懸念、家畜感染症のまん延、また、化学物質による労働災害の増加等、私たちの身近には従来以上に危険が多く、常に脅威に晒される環境となっています。安全な社会の実現に向けた関心が一層強まるなか、当社は、こうした課題を一つでも多く解決できるよう、安全・環境分野における存在意義を高め、社会や顧客の期待に応える取り組みを進めるため、目標指標とともに中期経営計画の内容を開示いたします。

2. 中期経営計画の基本方針

- (1) 「人と環境を守る」事業を強化し、安全な社会実現へ貢献する（防護服市場における事業領域拡大と安全環境設備分野の強化を中心とした次の時代の中核事業の育成）
- (2) 商社からメーカーへ、企業構造改革を進める（開発力、技術力、品質保証を裏付けとしたメーカー機能の強化）
- (3) 魅力のある企業集団を作り、ステークホルダーから選ばれる企業となる

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

中期経営計画

「Next Stage 実行計画2023」

(2023年5月1日～2026年4月30日)

地球のこと総て、その環境と安全に挑戦する。
The Challenge for the Earth: “Environment & Safety”

2023年7月13日



目次

- 
1. 経営の基本理念
 2. 中期経営計画2020～2022振り返り
 3. 新中期経営計画2023～2025
 4. サステナビリティへの対応
 5. 目標とする経営指標

1. 経営の基本理念

■ 社是

創造、革新、挑戦そして継承（Creation, Innovation, Challenge and Succession）

■ 経営理念

私たちは、自らの十分な感性、専門性、技術力をもって、公正で且つこだわりの有る商品を通じ、人々の快適な生活の実現に貢献します。

■ 経営理念の実践

- 公正主義の実践　　私たちは、公明正大をもって、自らの行動の規範とします。
- 集中主義の実践　　私たちは、絞り込み、差別化した各々のマーケットの中で、高い信頼と、その結果としての、高いシェアの獲得を目指します。
- 品質主義の実践　　私たちは、私たちの商品、サービス、経営が各々のマーケットの中で、常にトップの品質となることを目指します。そして、私たちの商品、サービス経営に満足したお客様が、唯一、私たちの収入、収益の源であることを確認します。
- 積極的挑戦の実践　　私たちは、行動を尊び、失敗を恐れず、何事にも積極的に挑戦します。そして、全ての社員が変革の担い手であることを自覚し、自ら迅速に行動します。
- 現場主義の実践　　私たちは、自らの目で確認した現場にこそ真実が有ることを理解し、自らの行動の基盤を現場情報に置くこととします。

1. 経営の基本理念

■ 経営ビジョン

**地球の環境と安全に貢献できる、
存在感のある企業グループを目指します**

2. 中期経営計画2020～2022振り返り

■ 中期経営方針

1. 飛躍的成長の基礎となる変革期と位置付け、積極的な投資を実行する



<実行した施策>

(1) アゼアスデザインセンター秋田設備投資実施 増設設備が稼働
竣工：2022年2月、 操業開始：2022年5月

目的：① 防護服 ⇒ 裁断など製造工程自動化による増産体制
高機能製品の開発体制を構築

② 日本製マスク ⇒ 高機能JIS規格製品の開発、生産体制

(2) アゼアス 防護服Labo 国立大学法人信州大学Fii内に開設
開設：2022年4月

目的：① 信州大学との素材加工や新技術に関する共同研究開発

② JIS等の試験拠点

2. 中期経営計画2020～2022振り返り

■ 中期経営方針

2. 事業ポートフォリオの見直しと事業構造改革により収益力を高める

<実行した施策>

- (1) ヘルスケア製品営業部の新設
(事業セグメントを再編)
- (2) 防護服・環境資機材営業部では
ソリューションビジネスに注力



化学物質分野、アスベストばく露防止、橋梁塗膜除去工事
安全環境設備分野(アメニティ・テクノロジー(株)と業務提携)



2. 中期経営計画2020～2022振り返り

■ 中期経営方針

3. 魅力のある企業集団を作り、顧客、社員、株主満足を向上させる経営を行う

<実行した施策>

- (1) 新人事制度の導入
- (2) 社内プロセス改革(業務電子化、業務フロー見直し)
- (3) 第80期特別配当、中期経営計画や目標指標など開示を開始

2. 中期経営計画2020～2022振り返り

■ 新型コロナウイルス感染症まん延への対応

感染症対策需要が拡大し、全世界的にサプライチェーンの混乱が表面化する中、個人用保護具の安定的供給に注力した3年間

- ・ 2020～2022中期計画は、2019年12月に発生した、新型コロナウイルス感染症の大きな影響下であり、防護服等安全対策の当社にとって、社会からの強い期待を受けて事業を推進した3年間
- ・ 新型コロナウイルス感染に対応しながら、サプライチェーン見直し等リスク対策、中国ロックダウン等の影響のもと各事業を推進、また、並行して新人事制度導入、業務電子化等、社内体制を整備

2. 中期経営計画2020～2022振り返り

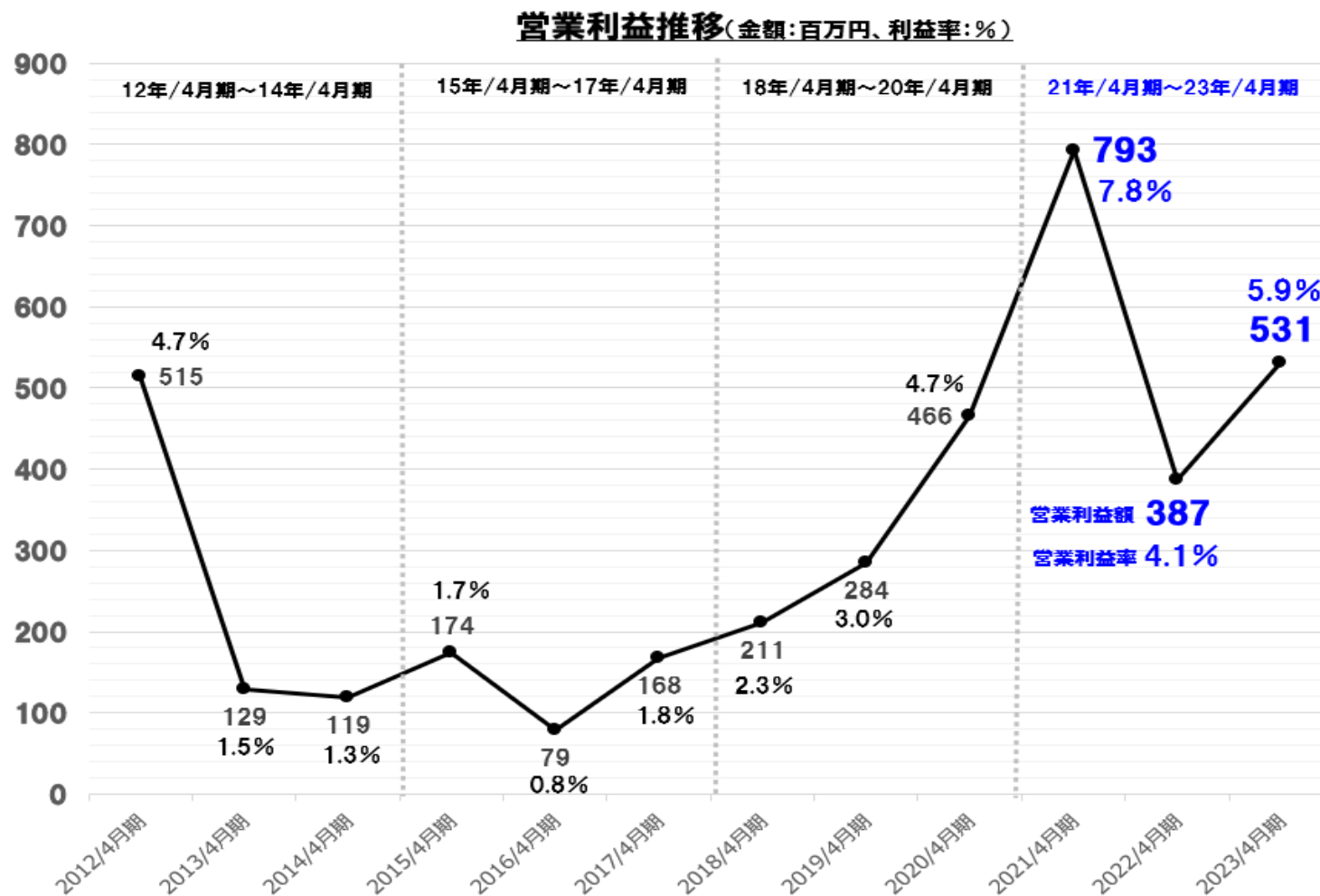
中期経営目標指標に対する実績

(単位:百万円)

	中期経営目標	2023年4月期 実績
売上高	10,414	9,081
経常利益	600	562
ROA(連結)	7.0%	6.4%
ROE(連結)	7.0%	6.3%

売上高、経常利益共に、中期計画目標未達
売上高 計画比87.2%、経常利益 計画比93.7%

2. 中期経営計画2020～2022振返り



中期計画単位の営業利益は改善傾向

2. 中期経営計画2020～2022振り返り

ROE 中期経営目標 7.0%

自己資本当期純利益率

(%)

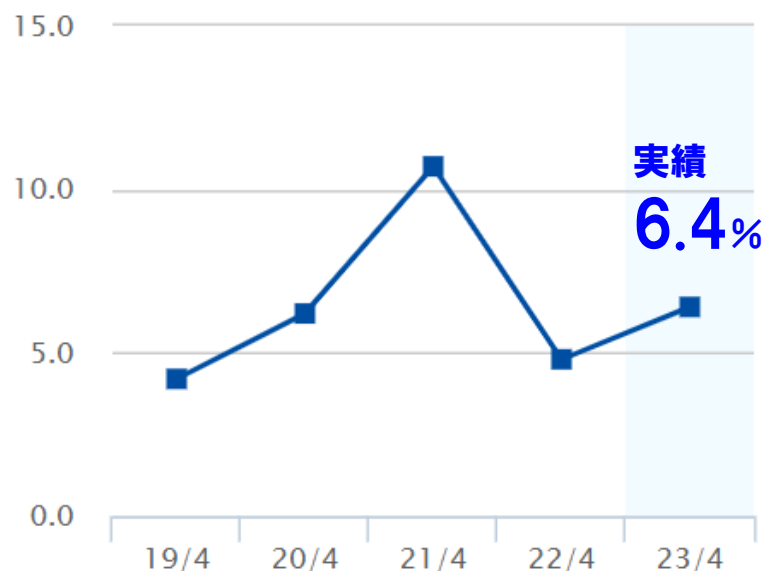


	19/4	20/4	21/4	22/4	23/4
通期	4.1	5.8	10.6	4.3	6.3

ROA 中期経営目標 7.0%

総資産経常利益率

(%)



	19/4	20/4	21/4	22/4	23/4
通期	4.2	6.2	10.7	4.8	6.4

2. 中期経営計画2020～2022振り返り

3年間の成果

- ・ 設備投資やセグメントの再編など、将来の収益の源泉となる投資や体制の整備は着実に進捗
- ・ 安定して利益を確保できるビジネスに拘って営業活動を進めた結果、利益率は目に見える形で改善

次期中期経営計画に持ち越しとなった課題

- ・ 新事業による業績への貢献、採算の向上は依然として途上
特に、アゼアスデザインセンター秋田で生産する日本製マスクは、中国のロックダウンが解除され、資材調達難は解消したが、引き続き歩留まりの改善、生産効率アップや、生産数の増加に注力中
- ・ 目標とした指標は、特に、売上高のギャップが大きく、目標未達成成長のシナリオを業績で示す取り組みは急務

3. 新中期経営計画2023～2025

■ 事業環境について

- ・ **新型コロナウイルスは落ち着いた一方、国際紛争の懸念、サプライチェーンのリスク(経済安全保障)、大規模災害(水害、地震、火山災害等)や、新型感染症の懸念、家畜感染症まん延、また、化学物質による労働災害の増加等、常に脅威が身近に存在する環境が想定される**
- ・ **「安全な社会実現」に対する強い関心が続くと考えられ、当社は、こうした課題を一つでも多く解決できるよう、安全・環境分野に集中して取組を進め、社会や顧客の期待に応えていきたいと考えている。**

3. 新中期経営計画2023～2025

■ 中期経営方針

- (1) 「人と環境を守る」事業を強化し、
安全な社会実現へ貢献する
- (2) 商社からメーカーへ、
企業構造改革を進める
- (3) 魅力のある企業集団を作り、
ステークホルダーから選ばれる企業となる

3. 新中期経営計画2023～2025

「人と環境を守る」事業を強化し、安全な社会実現へ貢献する

- 当社が優位性を発揮している化学防護服市場における専門的知見を他の未着手分野(全8分野)のカテゴリーの防護服市場にも活用
⇒ 化学防護服以外では、特に難燃分野、高視認分野へ資源を投入し、当社の事業領域を拡大
- アメニティ・テクノロジー(株)と提携して市場・顧客開拓を進める安全・環境設備分野は、個人用防護具と環境設備機器を組み合わせたソリューションビジネスを一層強化
⇒ 次の時代の中核事業の一つとなるビジネスモデルまで育成
- 防護服試験機能の集約と共同研究開発への注力
⇒ 信州大学繊維学部の知的資源を製品開発にフル活用
- 商号変更したアゼアス大連との連携強化
⇒ 強化を進める安全事業分野で、防護服、ヘルスケア等の生産と販売の機能両面において海外事業を強化

3. 新中期経営計画2023～2025

■ 商社からメーカーへ、企業構造改革を進める = メーカー機能強化

■ 製品開発

これまで営業活動で培ってきた情報や知識、知恵を製品という形にしていく

■ 技術力

- ・ アゼアスデザインセンター秋田を中核としてモノづくりの力を蓄積
- ・ 不織布加工技術により高機能防護服の生産プロジェクトが進行
- ・ 新たに布帛防護服生産ラインの新設も今後検討

■ 品質保証

責任を持った製品づくり

⇒ 「アゼアス」ブランド確立、社会・市場から信頼されるブランドへ
(収益性の高い製品の販売比率を増加)

3. 新中期経営計画2023～2025

■ 商社からメーカーへ、企業構造改革を進める = メーカー機能強化

メーカー機能強化による、「企業体質変革」と
「収益構造改革」により、持続的成長と中長期的な
企業価値向上を実現

目的：企業体質変革、収益構造改革

事業投資

M & A、海外進出等
新事業拡大

人材投資

給与等報酬の拡大、
優秀な人材確保

株主還元

配当性向30～40%
配当の増額

3. 新中期経営計画2023～2025

■ 魅力のある企業集団を作り、ステークホルダーから選ばれる企業となる

- ・ 資本コストや株価を意識した経営の実践
⇒ 収益力改善から、売上拡大のフェーズへ
売上を拡大することで、目に見える形で当社の成長シナリオを示す
- ・ 人材投資・人材育成、社内環境整備
⇒ アゼアデザインセンター秋田の設備投資や信州大学との共同研究の成果を十分な営業活動や新たな商流の開拓につなげる
優秀な人材の獲得と育成に注力

3. 新中期経営計画2023～2025

株価向上に向けた施策

■ 中期経営計画の着実な実行による業績の向上

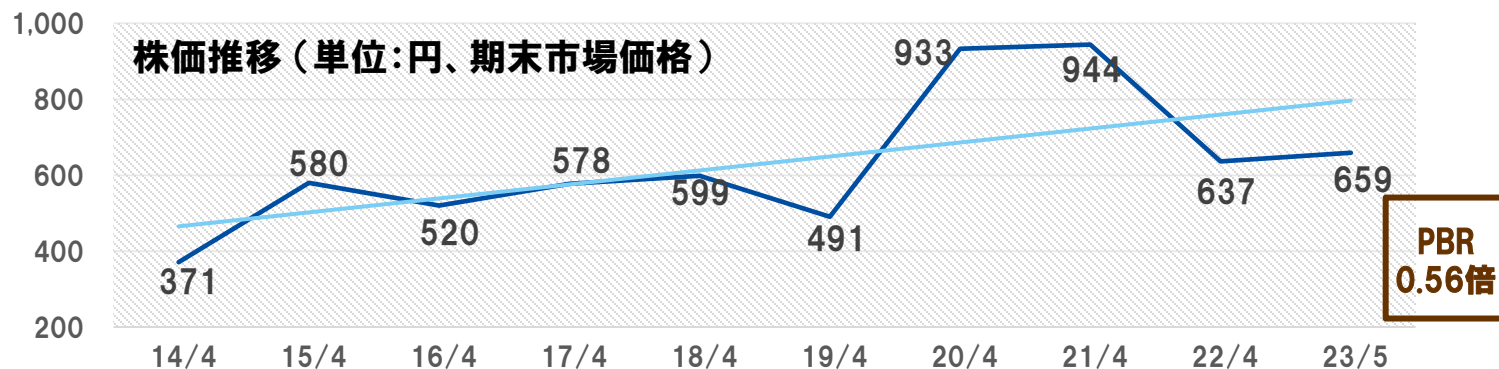
- ・ 収益力の強化／メーカー機能強化により一層の収益構造改革を推進
- ・ 売上拡大に重点を置いた施策の実行／売上拡大を通じて成長シナリオを示す

■ 説明会及びIR情報の充実

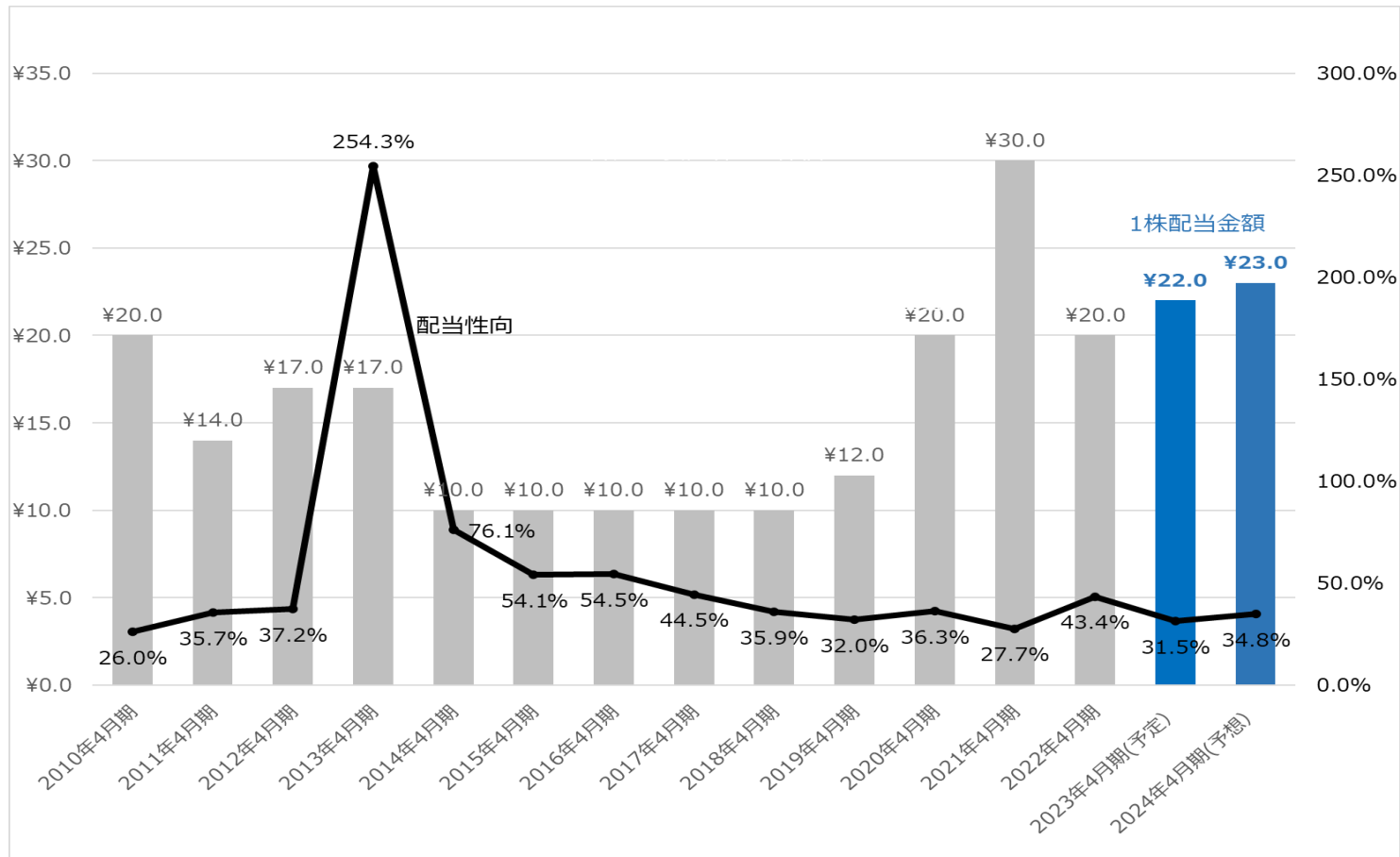
- ・ 成長シナリオを伝えるコミュニケーションと広報活動に注力
- ・ 非財務情報も含めたIR情報の充実を推進

■ 配当額の引き上げ

- ・ 構造改革を通じて収益力強化を図るとともに、更なる企業価値向上につながる事業投資、人材投資にも経営資源を配分しながら、株主還元(配当金)の水準を決定
- ・ 継続的かつ安定的な配当を重視しつつも、長期的には徐々に配当金の増額を進める方針



株主還元に対する方針



継続的かつ安定的な配当を実施

株主還元性向の中期的目標: 30~40%

純資産配当率、経営環境等も踏まえ総合的に判断

1株当たり配当額

2023/4期: 22円予定

2024/4期: 23円予想

4. サステナビリティへの対応

■ サステナビリティ基本方針

当社グループは、コーポレートスローガン「地球のこと総て、その環境と安全に挑戦する。The Challenge for the Earth: “Environment & Safety”」に基づき、社会的課題の解決につながる商品の展開と、企業として果たすべき社会的責任の取り組みにより、SDGsを意識した経営を推進していきます。

1. 安全・防護システムで人と環境を守ります。
2. 健康・快適な生活の実現に貢献します。
3. アゼアス株式会社の特性を活かした社会貢献に取り組みます。
4. 社員一人ひとりの人権を尊重するとともに、社員の健康維持向上に努めます。
5. コーポレート・ガバナンス体制を強化して透明性、健全性を確保するとともに、効率化と環境変化に対応できる経営管理組織を構築します。



4. サステナビリティへの対応

■ 人的資本・多様性について

○ 人材育成に対する考え方

1. 社会に貢献できる人材を育成して、経営理念を実現する。
2. 十分な感性、専門性、技術力を備えるとともに、事業環境の変化を捉え、経営変革の担い手となり得る人材の育成に取り組むと同時に、職場教育を通じて、人間としての成長を促す。
3. 社員には、学んだ専門知識とビジネススキルを活用しながら、自ら考え、自ら行動を起こして、現場で実践するチャレンジングな姿勢を期待する。
4. 社員は、自らの意思に基づいて設計するキャリアデザインをもとに、主体的な自己啓発に取り組む。会社は、社員一人ひとりのキャリアゴールの実現に向けた努力を尊重し、能力開発の機会を提供する。

○ 社内環境整備に対する考え方

1. 社員一人ひとりの人権を尊重し、いかなる差別、および差別につながる一切の行為を行わない。
2. 職場内コミュニケーションの促進を通じて、風通しの良い組織運営を実現し、社員一人ひとりがワークライフ・バランスを取りながら、生き生きと充実した生活を送れるよう、健康増進を推進し、健康維持向上に努める。
3. 仕事と子育ての両立と女性の活躍促進を含む多様性の確保を推進し、性別を超えて従業員一人ひとりが個性や能力を発揮できる職場を提供する。

5. 目標とする経営指標

■ 中期経営目標指標

(単位:百万円)

	中期経営目標 2026年4月期	2023年4月期 実績
売上高	12,000 以上	9,081
経常利益	880 以上	562
ROA(連結)	8.4% 以上	6.4%
ROE(連結)	8.0% 以上	6.3%

売上高、経常利益共に、上場後最高益を目標とする
資本効率の向上に関する目標指標の達成も重視